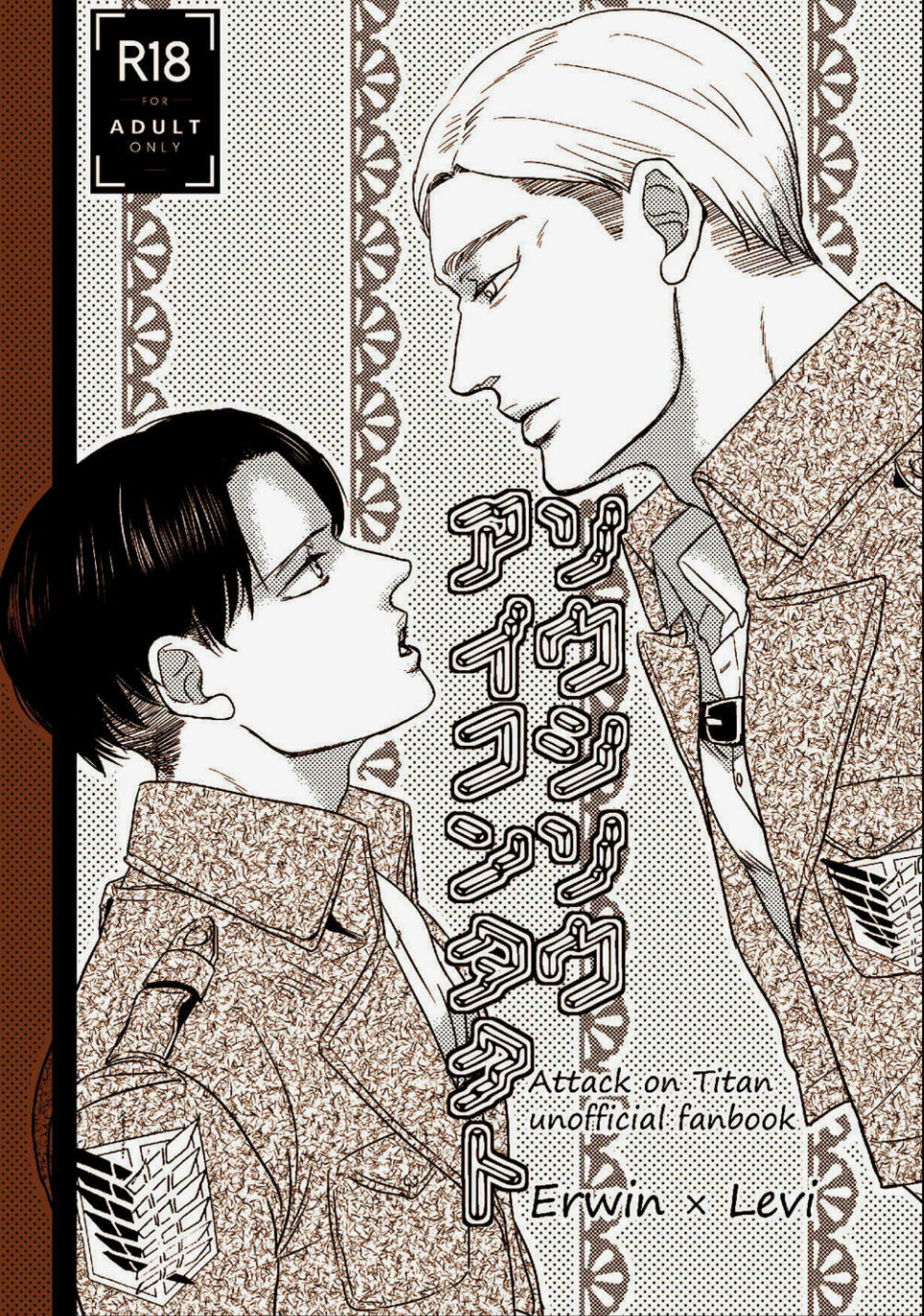
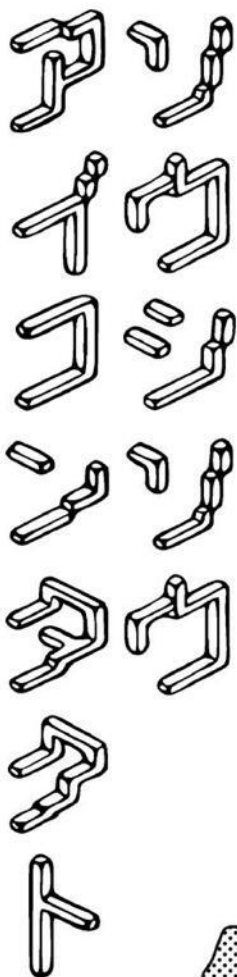


R18
FOR
ADULT
ONLY

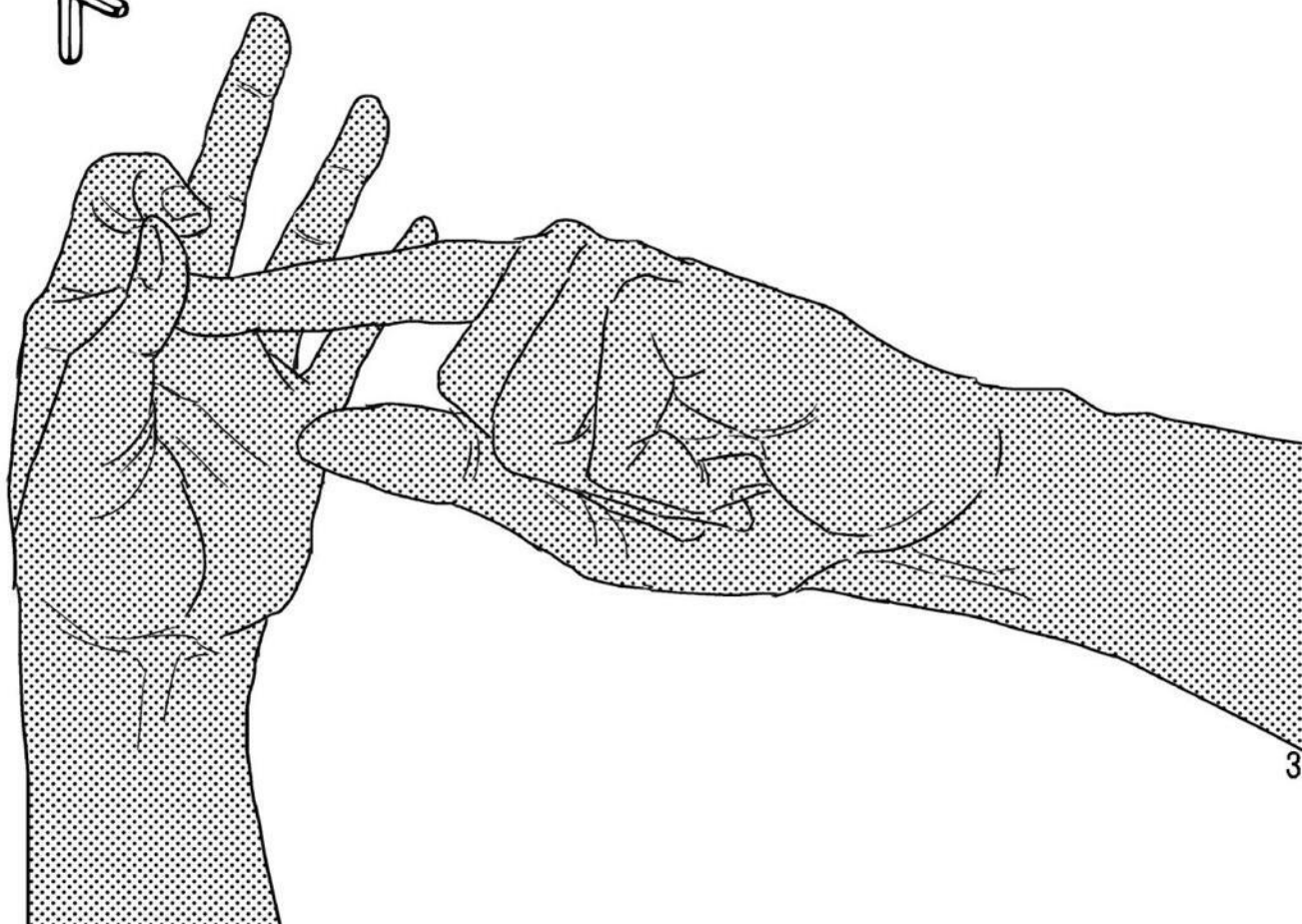



Attack on Titan
unofficial fanbook

Erwin x Levi




※ATTENTION!※
アイコンタクトという名のもとに軽率に瞳で会話する
分隊長エルヴィン×新兵リヴァイのお話です。





これは一体
どうしたものか



——今
私を悩ませるもの
それは……



金髪……!

このクソ
金髪野郎……ッ!

(※パンをちぎる音)



オイオイオイ
こっち見てんじゃ
ねえよッ
何だつててめえは
朝からそんなに
キラキラさせて
やがるんだ？

クッッ
眩しくって
たまんねえな…



—そう

地下から
私を手継ら
連れてきた
リヴァイが



最近
やたらと
私を見つめて
くる上に

その心情が
ダダ漏れなのだ

サ！
まただ…

出会った時こそ
文字通り
殺さんとする
勢いで睨まれていた

手に入れる為に
取った手段は
彼を傷付けただろう
恨まれ続けることも
覚悟したつもりだ



しかし入団後
その瞳は
冷たく刃のように
見据えてくるだけで
心情を図ることは
容易ではなかった



そして
リヴアイが
地下から共に来た
仲間を失った
あの壁外調査の
後、暫くして――

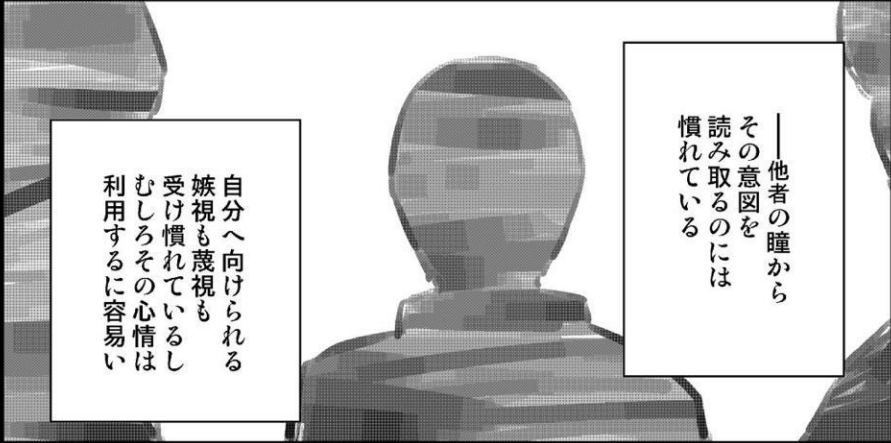
その瞳は
徐々に
雄弁になって
いった

部屋の明かりが
ずつついていたが
こいつは
いつ寝てるんだ？

おいおい
この部屋
掃除のし甲斐が
ありそうだ！

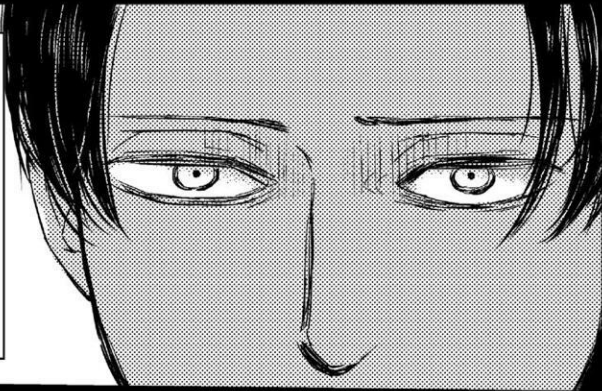
あ…今
野菜を
よけたな？

今朝も変わらず
イヤミな程
男前じゃねえか！



——他者の瞳から
その意図を
読み取るのには
慣れている

自分へ向けられる
嫉視も蔑視も
受け慣れているし
むしろその心情は
利用するに容易い



しかし
あいつのあれは
勝手に覗き込んで
ならない
もののような…



とは言え
目が合えば
勝手に聞こえて
しまつただから
仕方ない

あいつには
聞こえない
振りをして
やり過ごすのが
一番なのだろう

……そうさ……

——なあ
ミケ

ん？

最近
リヴァイと
何か話を
したか？

リヴァイと……？

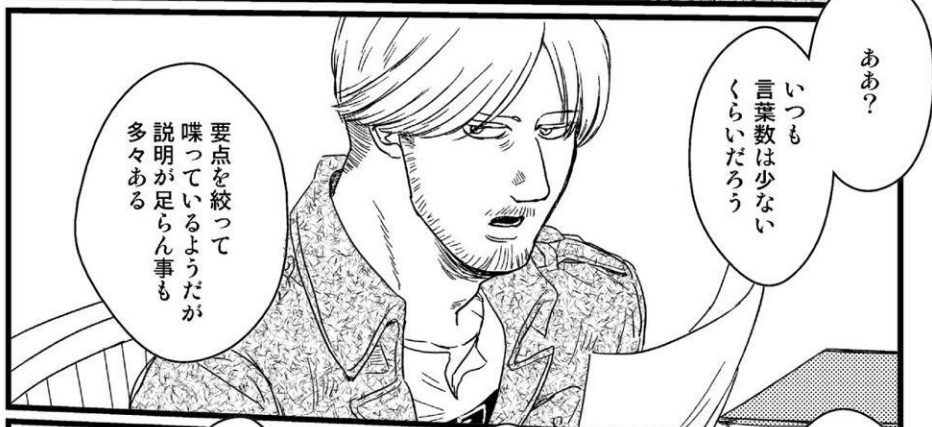
：数日前
立体機動の
手入れについて
いくつか聞かれ
たから
答えてやったが

どうかしたか



いや
あいつは
その……

最近
うるさくは
ないか……



ああ？

いつも
言葉数は少ない
くらいだろう

要点を絞って
喋っているようだが
説明が足らん事も
多々ある

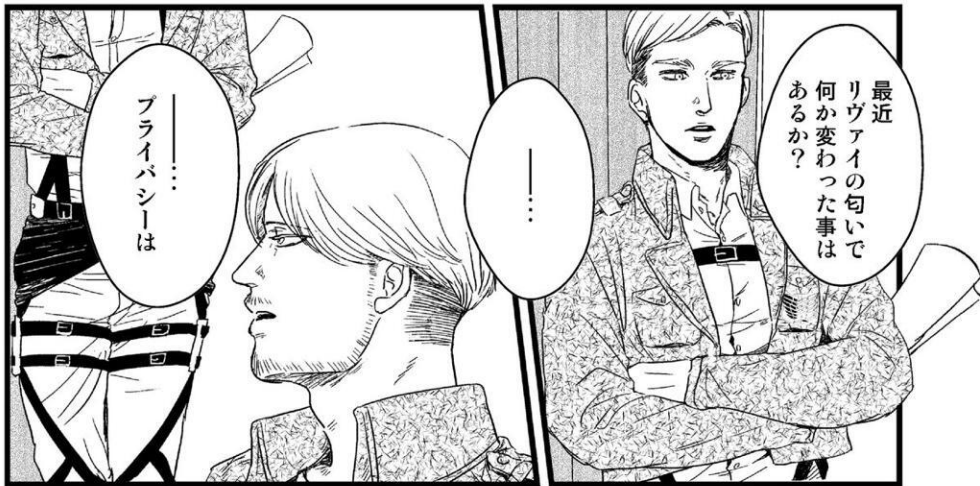


少なくとも
うるさくはないな
ハンジよりは

……
ああ、確かに
そうだな……

やはり
聞こえないのか
——イヤミケなら
目よりもむしろ……

では
匂いは？



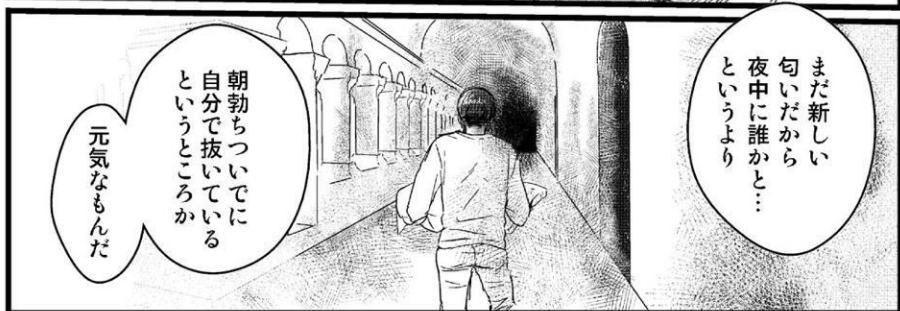


—最近は

：毎朝
精液の
匂いをさせて

水浴びに
向かっているな

…っ



まだ新しい
匂いだから
夜中に誰かと…
というより

朝勃ちついでに
自分で抜いている
というところか

元気なもんだ



聞いて
きたのは
お前だ

違う！

そこまで気付く程
嗅ぐんじゃない！

……

あいつに
フライバシーは
ないのか…



じゃあお返しに
リヴァイに
俺の自慰の頻度を
話せばいいか？

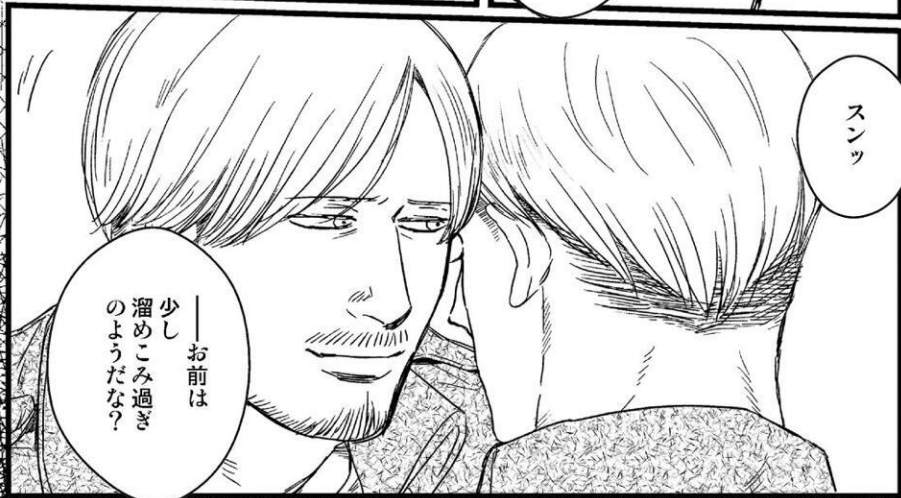
.....



息をするなど？



一方的に
知るなんて
卑怯だと
言っている

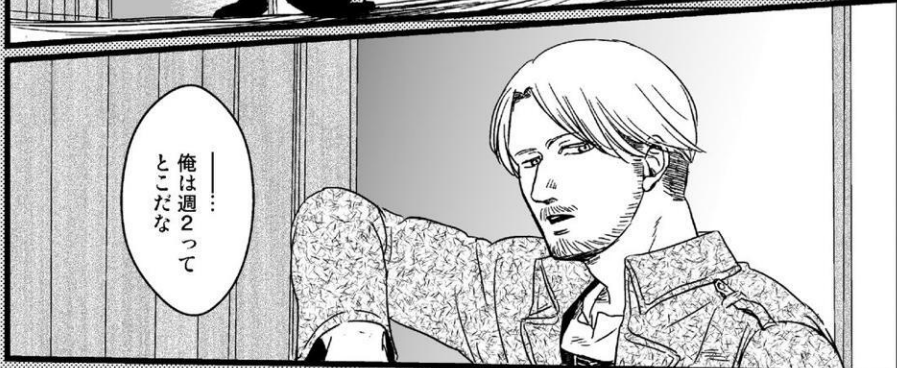


——お前は
少し
溜めこみ過ぎ
のようだな？

スニツ



余計な
お世話だ



俺は週2って
とこだな

ミケに
言った通りだ

一方的に
知るの
はフエ
アでは
ない

フエアでない
ことなど
壁外でも王都でも
常に存在するが
しかし――

カッ

この男との間では

—…
なんだよ…

何か用か

…
エルヴィン…

ずい、

—話を
しにきた

お前の部屋
今は一人で
使っている
だろう？

何だ
他の奴に
聞かれると
困る話か？

…ああ？

…ああ…
またこの
キラキラだ…

おまけに何だ？
寝巻きじゃねえか…
これ見よがしに
でけえ胸晒し
やがって…

そんな恰好で
何を話せと？

こいつに
見られると
俺の身体は
ワケが分からなく
なっちまう…

きつとまた
夢に出て来やがる
んだろうな：
朝だってそれで
勃ちまってるに
抜いたってのに

／スス：

なんてザマだ
畜生：

待て

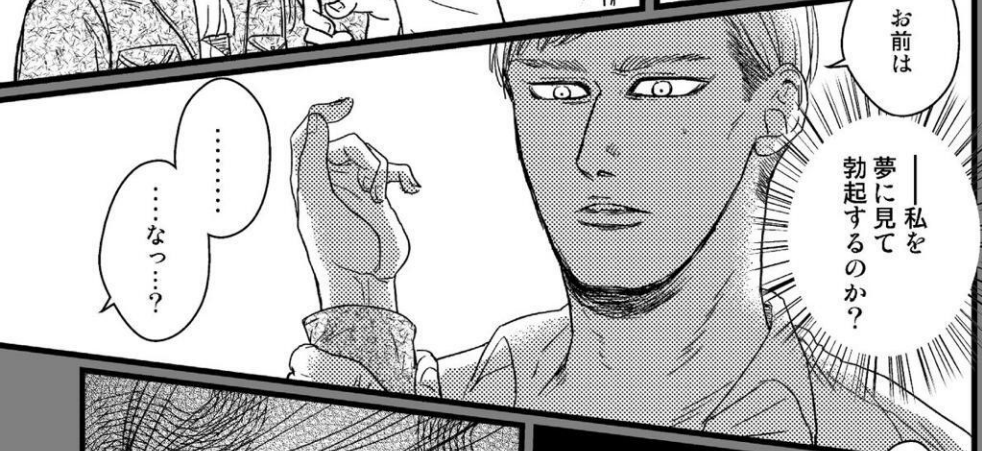
私を見て
勃つと
言ったか？



—なん…
だと…？



—…あ？



お前は

—私を
夢に見て
勃起するの？

……
…なっ…？



リヴァイ！

いいか？
これは
アイコンタクト
と言う



…は？

なんだ？
なななな…
ナンダコレ

相手と視線を交わし
その細かな変化を
察知することで
意思の伝達を図る

修得すれば
壁外調査においても
大いに役立つ
コミュニケーション
ツールだ

私とお前は今
こうして見つめ
合う事で
誰に気付かれる
こともなく
会話をしているんだ

お前：
そんなことが…



そうか…

そうだ

ああ
私ほどになると
このくらい
可能になる…
お前も筋が良いな

二二以上
二二二以上
ヤバク事
は確かな



地下でも視線で
相手の出方を
見極めていたが
えらい違いだな
こりやあ…





…ッ!



—それで…
リヴァイ

お前
まさかとは
思うが

毎朝
「私」で抜いて
いるんじゃない
ないだろうな…?



知って
んだ!?



…ねエ、
だろ…

それを



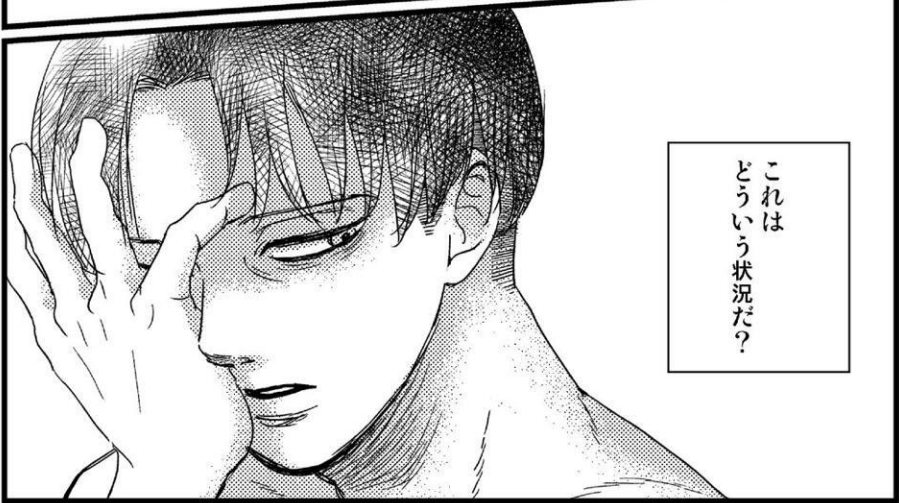
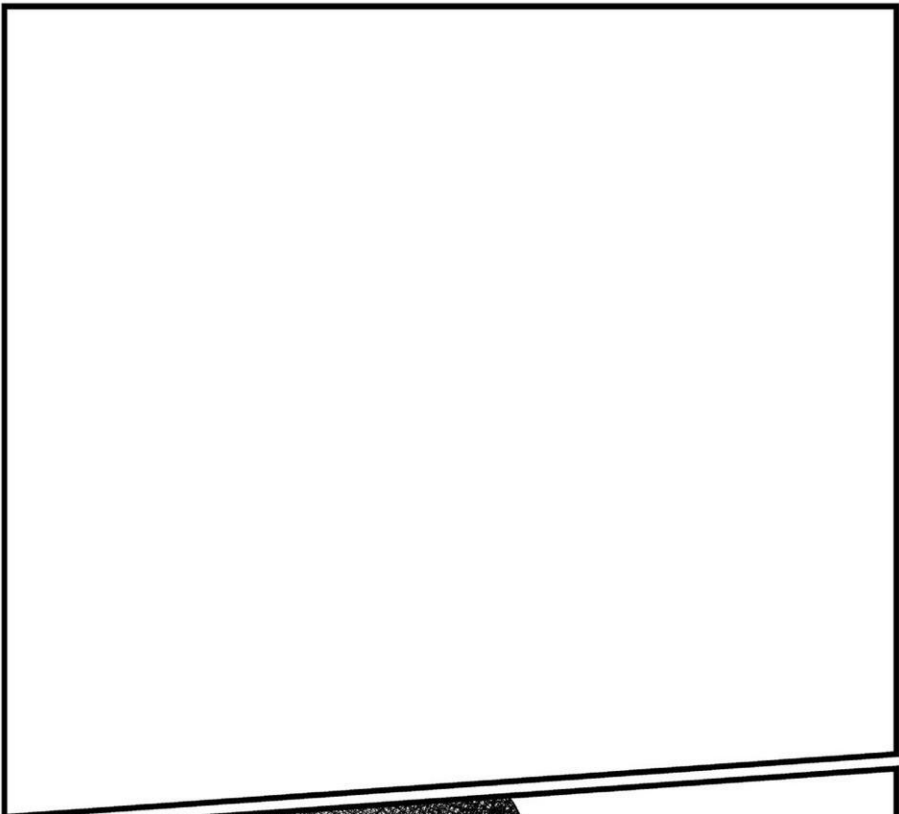
…だから
なんで

…なんで

…んわけ…







これは
どういう状況だ？

エルヴィンの
野郎から
アイコンタクト
というものを
教えられてからと
いうもの

それを毎晩
仕込まれて
いるのだが

白熱するうちに
気が付くと
朝になっていて
珍しくベッドで
熟睡：

その時既に
エルヴィンは
見当たらず――

クツほど
ケツが
痛くなって
いる……

これは
一体どうい
う
状況だ？

俺だって
ガキじゃねえ

アイコンタクトを
やっている最中の
アレは――



紛れもなく
セックスだ



お前も
いいのか…

あ…あ
やへえ…



何か
やへえこれ…
エルヴィン…ッ



リヴァイ…
ああ…リヴァイ

あつ、あつ、
ダメだ…ッ

エルヴィンッ
エルヴィン…ッ

あつ、
すすげえ

俺には
分からねえ

アイコンタクトとは
セックスの一端か？


てくっ

うううううううう

チ
モ
カ
ン
カ
ン

何故俺達は
そんな事を
してるんだ？

壁外調査で
役に立つと
言っていたが
他の奴らも
やってんのか？



乱れ過ぎ
じゃねえか…



なあミケ

お前
アイコン
タクトは
得意か？

お前も
エルヴィンと
アイコンタクトして
るのか？

はむ。

あいつ昨日は
そんな事
一言も言わな
かったぞ

馬鹿に
しやがって…

ああ、今頃は
団長と
馬車の中
だろう

……
言っている事が
良く分らんが

エルヴィンなら
中央で会議だ

ああ？

団長と？

キース団長…

オイオイ
二人きりだぞ
わざわざ
アイコンタクト
なんぞ…

だからこそ
ですよ
長い道中です
楽しまなくては…



オイ!

その場合
ケツが痛くなるのは
どっちだ!

ケツが…?

まあ距離が
あるからな…

慣れている
とはいえ
どちらも
痛くなるんじや
ないか?※

どちらも
だど!

※馬車に揺られて



…エルヴィンの
野郎!

そんなに
団長と
お楽しみだ
とはな…

—リヴァイ
何を
悩んでるのか
知らんが

最近の
エルヴィンは
楽しそうだぞ

お前を見て
笑ったり
赤くなったり

てめえは
奴のことを良く
分かってるんだな

とにかく
変わったよ

アイコンタクト
なんぞ出来ても

俺にはちつとも
分からねえ

…ふ
変わったのは
お前も同じか

大丈夫だろう

カタ

！

中央から
戻ったら

お前が
やつの痛みを
癒してやればいい

ヒッ

ヒッ

...

〜つわあ...

ワッ シェアアア

ヒッ

ヒッ

あと
俺は昨夜
ナナバといた

ヒッ

…何故それを
俺に言う？

卑怯者呼ばわり
されたくない
からな

…?

俺を見て
笑ったり
赤くなったり？

あいつが
そんな表情を？

——いや……
初めてやった後だって
あいつは至極冷静
だったぞ……？

——先の
壁外調査を経て

陣形を
一部修正したい
よく聞いてくれ

リヴァイ
集中しろ

はあ……畜生
ケツがいてえ……

まず
初列索敵班
だが——

…うるせえな
てめえのせいで
ケツが痛えんだ

弁解もなく出て
行きやがって…
一体何なんだ
ゆうべのアレは

…
弁解する事は
何もない
良いから今は
黙って話を
聴け

ああ？てめえ
ふざけんなよ？
部下のケツ穴
散々掘っておいて
弁解もしねえだ？

ハッ
さすがは男前の
分隊長殿だな
やるのが違え

…やり過ぎて
しまった事は謝る
あんなに貪る
つもりは無かった
すまない

しかしお前こそ
何故途中で
止めなかった

私を
殴り倒す事など
お前には容易
だろう

つまり
夜明け前まで
散々やり耽った
のは互いに
合意の上と
いうことだ

痛みについては
挿入前に充分に
広げた筈だが

く
く
ぼ
ぼ

お前のせいで
私の膨張率が
過去の状態を
優に超えてきた

予想外だった
次回は
善処する

：次回
だと？

以上だ

分かったら
黙って話を
聞け

オイ
オイオイ
待て待て！

あと腹も
下してる
んだが？

クソの
止まらねえ
腹とかけて
今の気分と
とく…

どちらも
たまりません
ってな…

ケニーゆすり
下ネタ
なを
かけ

色々
ヒドいぞ
リヴァイ

突然どうした
話を
引き延ばし
たいのか？

—出した後
掻き出す必要が
あったな
今後は
心掛けよう

中出し
しなきゃ
いいんじゃない

中出しは
したい

てめえ
最低だな



兎に角

今はお前の
具合の良い尻の
具合よりも
重要な話を
している

分かったら
団長の話を――

うるせえ！



どうせこの団長の
話だって、てめえが
寝ずに考えた
てめえの案だろうが！

その上品な
お口から
あとでたっぷり
聞かせてみるよ！



ベッドの上でな……

転職しよ

聞いてねえ……



ああ、そうだ…
あの後、結局
あいつの部屋で
もう一発……

でもやっぱりあいつは
いつだって冷静で
表情変えずに
いるじゃねえか…



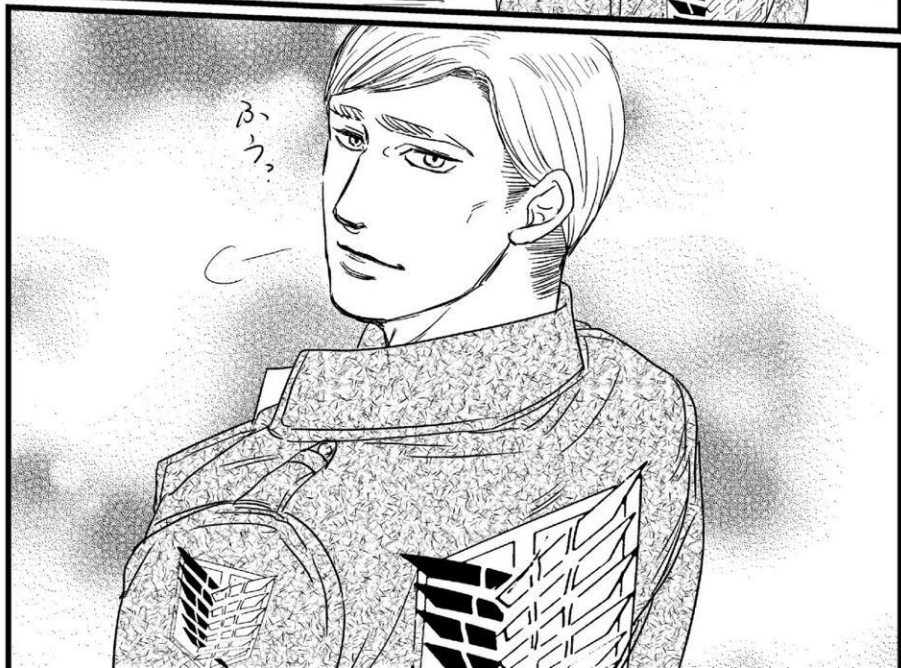
アイコンタクトは
魔法じゃねえんだ

あいつが
俺に明かさな
情報も感情も
分かるもんか

でも
それを悔しく思う
俺自身も分からねえ

——この感情は
一体何なんだ？

団長が
お戻りになったぞ！







ああ
それなら

おや
リウアイ



そうだこれは



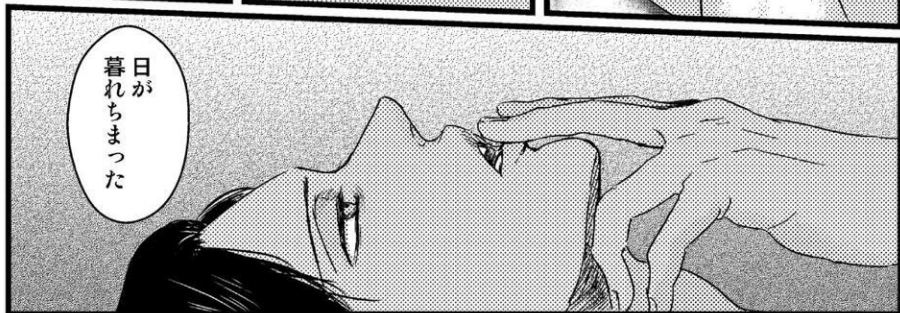
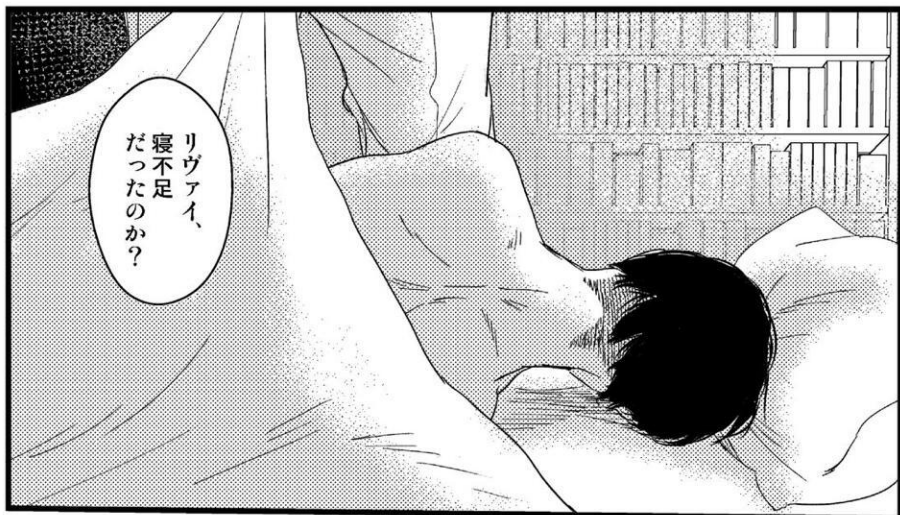
おか、えり

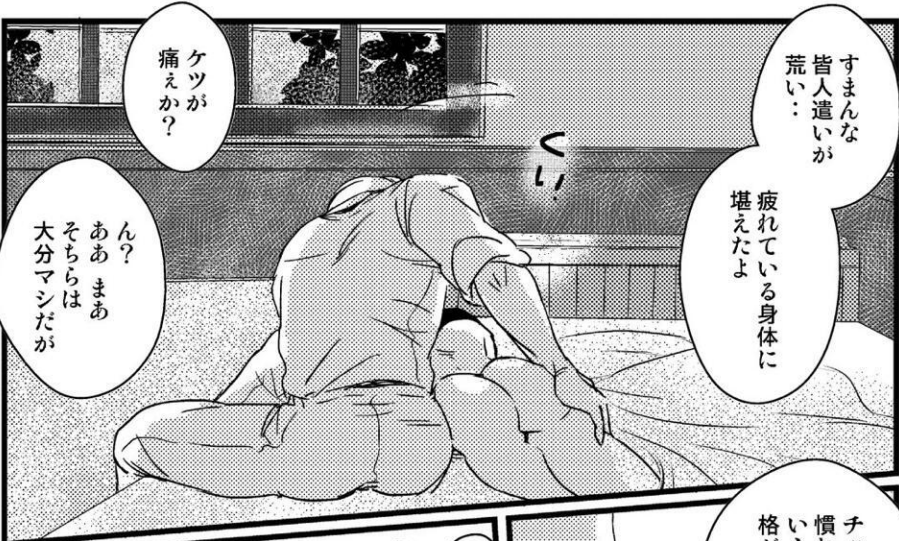
すきだ











すまんが
皆人違いが
荒い！

疲れている身体に
堪えたよ

ケツが
痛えか？

ん？
ああまあ
そちらは
大分マシだが

チツさすが
慣れて
いらつしやるぜ
格が違エ

俺はてめえと
ヤった日はずつと
ケツに入ったまま
みてえだ

はは
それはいいな

どれ

…おや



こちらも
掃除したと
いうことか

リヴァイ…
随分と柔らかい

…掃除していた
から、風呂に
入った…

至れり尽くせり
で有難い

あ…



…っ
それは
てめえだ
ろうが…ッ



私は また
私の居ぬ間に



他の者とも
アイコンタクトを
鍛錬していたのかと
思ったよ



……
お前の発想は
ユニークだな……

道中、団長と
お楽しみ
だったん
だろーがっ

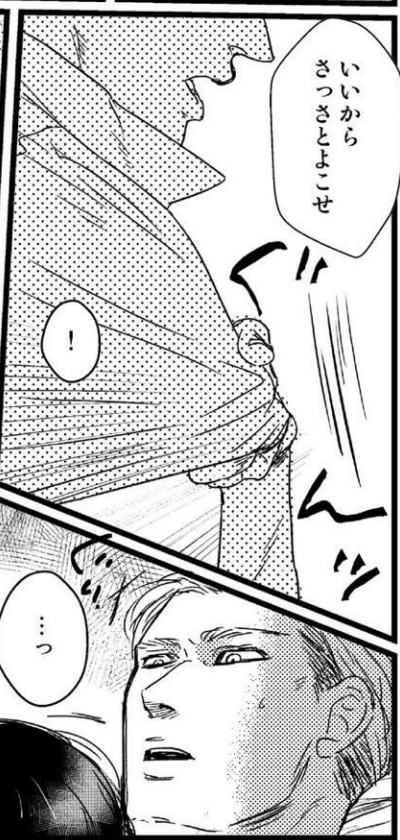


何故
そうなる？



随分積極的
になったものだ

うるへえ



いいから
さっさとよこせ

……



リヴアイ
アイコンタクトは
魔法じゃない

お前が私に
伝えようと
しない限り
知り得ない



びっ
クッ



…ッ！ 百も承知なんだよ…！
んな事あ

何も
言いたがらないのは
てめえの方
じゃねえか！

だから
ミケの方が
お前を
分かってる…！



そもそも
相手に
されてねえんじや

アイコンタクト
なんて
クソの役にも
立たねえよ



——リヴァイ

アイコンタクト
には、必要不可欠な
要素がある…

ク
イ
ン



相手を知りたいと
いう事と

自分を
知って欲しいと
思う事だ

無意識でも

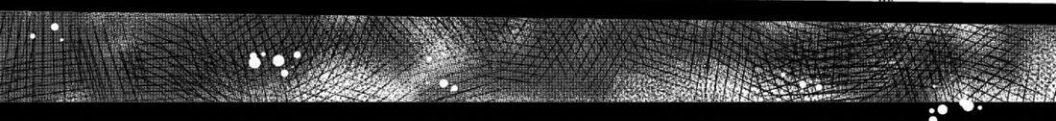
お前はそれを
私に求めた

そして、
応じている
私も同等だ



同じなんだ
リヴァイ

いいか



アイコンタクトは
交渉においても
非常に効果的だが

これは
資金交渉や
喧嘩相手との
腹の探り合い
じゃない



お前の反応を
見ながら
確かめる

お前の中に
あるものを…



お前とのそれは
いつでも
セックスの様だよ…

カニカニ

ハッ

カニカニ

はっ

……

ハッ

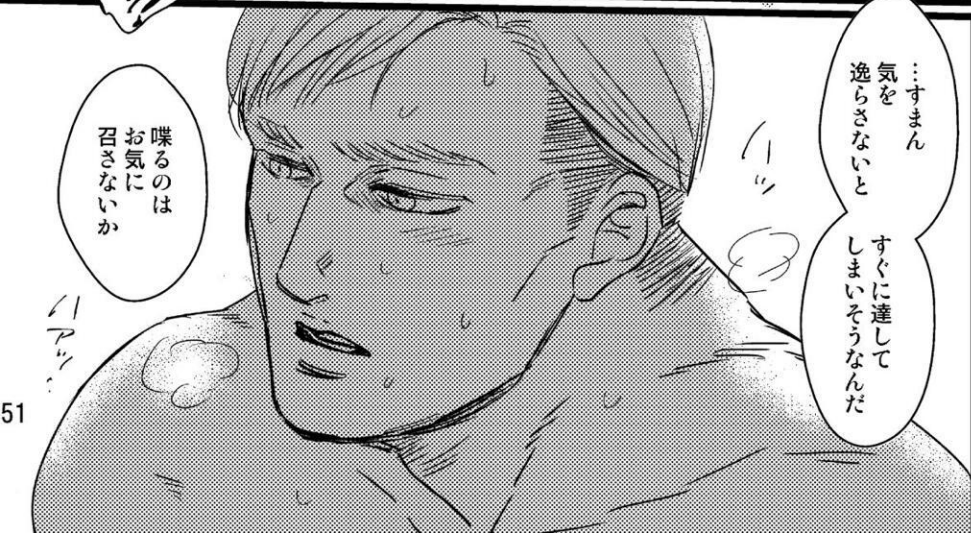


はっ
てめえ
それ…ッ

ハッ

ベッドの上でも
お講義
みてえだな…!

ベニク
ベニク



…すまん
気を
逸らさないと
すぐに達して
しまいそうなんだ

喋るのは
お気に
召さないか

ハッ



……—っ……
や……

もっと
聞かせて
くれよ……



……



お前の

その声で……



お前が

好きだ

ん



馬車の道中
団長と私が
楽しんでいたと
言っていたな

お前は

なんだ…
—まだ
起きてるのか…



そのことについて
話していたんだ

…エルヴィン…



—

キース団長には
退任の
意思がある



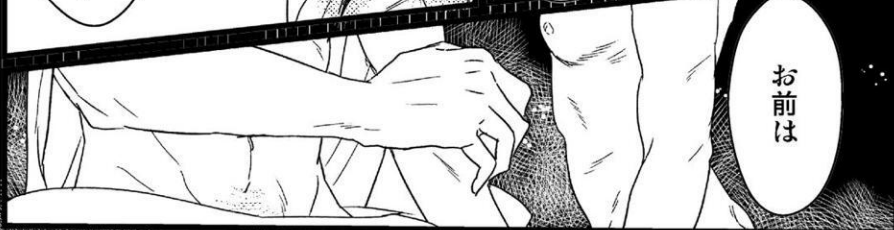
あ…
いや あれは
もう忘れてくれ…



リヴァイ……

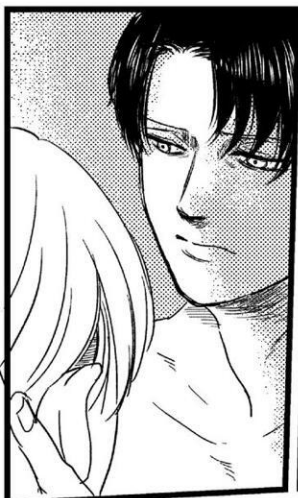


俺は
何をすれば良い



俺を





…もう寝ちまえ

その情熱的な
お目を
閉じるんだ

ああ…
そうだな…
さすがに疲れた

：おやすみ

今夜は おやすみ—

また明日

見つめ
語ろう

あの時のエルヴィン

エルヴィン!

—!

じゃあな

クルト

—ヴィン…

あ、
ああん
すまん
話の途中
だったな

あなた

じゃなくてさ

顔まっか

